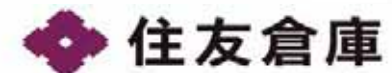


# 平成19年3月期中間決算説明会資料

## 平成18年11月20日



Best Synergy & Best Solution

	ページ
<b>I. 平成19年3月期中間決算（連結） ～全体概要～</b> .....	1
I-1. 中間決算（連結）の状況 .....	2
I-2. 通期（連結）の見通し .....	3
I-3. 連結財政状態（中間決算） .....	4
I-4. キャッシュ・フローの状況（連結） .....	5
<b>II. 平成19年3月期中間決算（連結） ～セグメント別概要～</b> .....	6
II-1. セグメント別の中間決算の状況（連結）（1/2） .....	7
II-1. セグメント別の中間決算の状況（連結）（2/2） .....	8
II-2. セグメント別業績の通期見通し .....	9
補足資料① 保管用倉庫面積・保管残高 .....	10
補足資料② トランクルーム期末保管残高 .....	11
補足資料③ 港湾運送取扱量 .....	12
補足資料④ 国際輸送取扱量 .....	13
補足資料⑤ 不動産賃貸面積 .....	14
II-3. 主な設備投資案件（連結） .....	15
II-4. 情報システム投資の概要 .....	16
II-5. セグメント別設備投資額・減価償却費（中間期） .....	17
II-6. セグメント別設備投資額・減価償却費（通期） .....	18
<b>III. 中期経営計画の推進</b> .....	19
III-1. 遠州トラック株式会社の子会社化（1/2） .....	20
III-1. 遠州トラック株式会社の子会社化（2/2） .....	21
III-2. 中国ビジネスの強化 .....	22
III-3. オムロン株式会社との合弁事業 .....	23
III-4. 物流拠点への投資 .....	24
III-5. DSS（データ・ストレージ・サービス）事業への取り組み .....	25
III-6. 不動産事業への取り組み .....	26
コア・メッセージ策定 .....	27

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照下さい。  
 本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物  
 価変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご  
 承知おきいただきますようお願いいたします。

# I .平成19年3月期中間決算(連結) ～全体概要～

## 【平成19年3月期(中間)】

- 営業収益: 55, 237百万円 (+4,202百万円、+ 8.2%)
- 営業利益: 3, 296百万円 (+ 553百万円、+20.2%)

## 【平成19年3月期通期見通し】

- 営業収益: 119, 500百万円 (+13,803百万円、+13.1%)
- 営業利益: 7, 000百万円 (+ 1,295百万円、+22.7%)

※当中間期から、アイスター(株)、遠州トラック(株)、遠州トラック関西(株)、(株)中国遠州コーポレーションおよび(株)藤友物流サービスの5社を新たに連結子会社とした。但し、遠州トラック以下の遠州トラックグループにおいてはみなし取得日が当中間期末日のため、貸借対照表のみ連結しており、損益は下半期から反映する。従って、当中間期における新規連結子会社の損益面での影響額は、営業収益で約11億円、営業利益で約0.2億円であるが、通期見通しでは、営業収益で約113億円、営業利益で約5.5億円である。

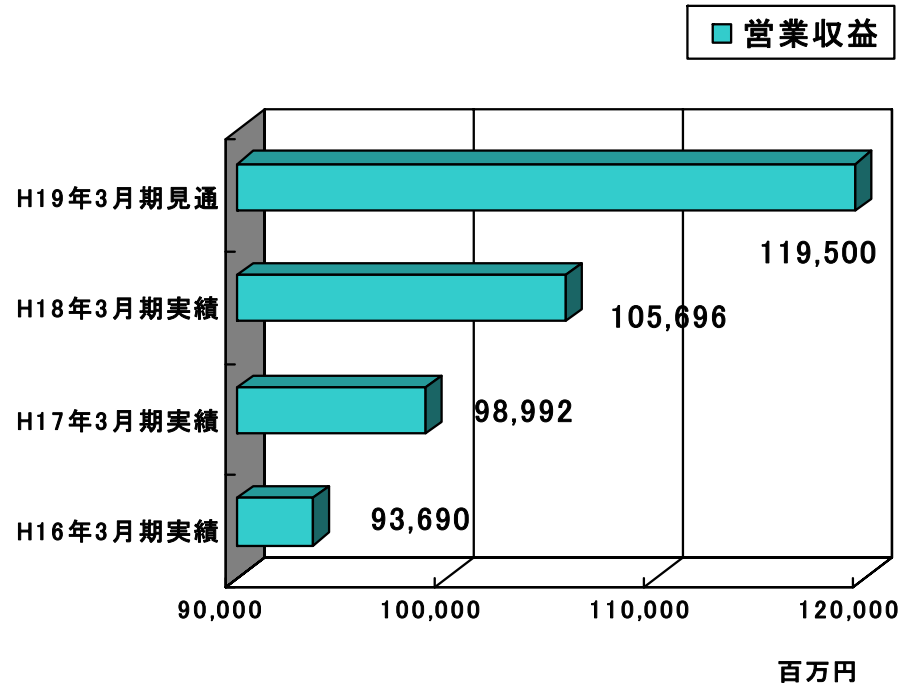
## 中間決算の業績

単位:百万円

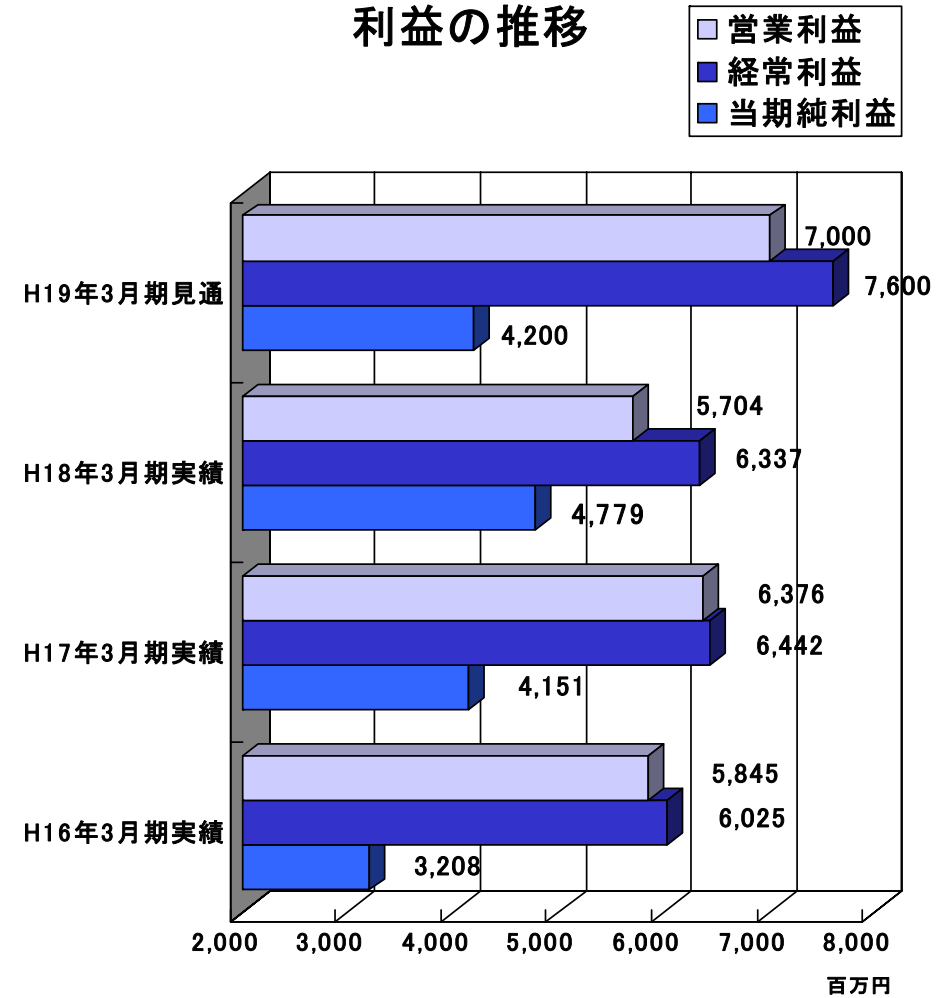
決算期	平成18年3月期 (中間)		平成19年3月期 (中間)		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金額	比 率
営業収益	51,035	100.0%	55,237	100.0%	4,202	8.2%
営業利益	2,742	5.4%	3,296	6.0%	553	20.2%
経常利益	3,044	6.0%	3,758	6.8%	714	23.5%
中間純利益	2,911	5.7%	2,249	4.1%	▲662	▲22.7%
1株当たり中間純利益 (円)	16.45	-	11.75	-	-	-

<b>営業収益</b>	国際輸送で中国関連の取扱いが好調なうえ、航空貨物取扱いも回復。一般荷捌でも輸出入とも電機電子部品を中心に増加。アイスター(株)の子会社化も寄与
<b>営業利益</b>	物流事業の一般荷捌やトランクルーム事業の好調による増益に加え、不動産事業における綱島マンシヨンの新規稼働が寄与
<b>経常利益</b>	金融収支は支払利息の増加により悪化したが、シンジケートローンの組成費用が減少したため、営業外損益は好転し増益となった
<b>中間純利益</b>	前年中間期は投資有価証券売却益などの特別損益が発生したが、当中間期は特別損益の発生がなかったため減益となった

営業収益の推移



利益の推移



## 連結財政状態の状況

単位:百万円

区 分	平成18年3月期末	平成19年3月期中間期末	増 減 額
総 資 産	235,258	256,025	20,767
負 債	94,217	113,932	19,715
純 資 産	141,041	142,092	1,051
(うち少数株主持分)	(1,129)	(3,566)	(2,436)
自己資本比率	59.5%	54.1%	-
1株当たり純資産	731.70円	717.88円	▲13.82円
自己資本当期純利益率	3.9%	3.2%	-

総 資 産	遠州トラック株を子会社化したことによる増加のほかアイスター株の子会社化や「土地」「現預金」による増加
負 債	遠州トラック株を子会社化したことによる増加のほかシンジケートローン借入に伴う「長期借入金」の増加
純 資 産	「投資有価証券」の減少に伴う「其他有価証券評価差額金」の減少はあったが、遠州トラック株を子会社化したことによる「少数株主持分」の増加等により増加

## 中間連結キャッシュ・フローの状況

単位:百万円

区 分	平成18年3月期 (中間)	平成19年3月期 (中間)	増 減 額
営業活動によるCF	417	2,506	2,089
投資活動によるCF	▲5,510	▲10,003	▲4,492
財務活動によるCF	5,778	8,987	3,208
現金及び現金同等物中間期末残高	12,220	10,382	▲1,837

営業活動によるCF	営業利益の増加に加え、預り金の返還が減少したため増加
投資活動によるCF	子会社株式の取得による支出が増加
財務活動によるCF	前年同期にあった転換社債償還資金の返戻による収入はなくなったものの、借入により増加

## Ⅱ.平成19年3月期中間決算(連結) ～セグメント別概要～

### 【平成19年3月期(中間)】

#### ■物流事業

営業収益: 50,640百万円 (+3,974百万円、+8.5%)、営業利益: 2,337百万円 (+255百万円、+12.2%)

#### ■不動産事業

営業収益: 4,773百万円 (+ 317百万円、+7.1%)、営業利益: 2,612百万円 (+228百万円、+ 9.6%)

### 【平成19年3月期通期見通し】

#### ■物流事業

営業収益: 110,100百万円 (+13,285百万円、+13.7%)、営業利益: 5,450百万円 (+1,278百万円、+30.7%)

#### ■不動産事業

営業収益: 9,700百万円 (+ 548百万円、+ 6.0%)、営業利益: 5,150百万円 (+ 306百万円、+ 6.3%)



## II - 1. セグメント別の中間決算の状況(連結)(1/2)

### セグメント別の営業収益

単位:百万円

区 分	平成18年3月期(中間)	平成19年3月期(中間)	増 減	
			増	減
1. 物流事業	46,666	50,640	3,974	8.5%
①倉庫業収益	6,627	6,885	258	3.9%
②港湾運送業収益	17,291	18,183	891	5.2%
③国際輸送業収益	11,584	13,526	1,941	16.8%
④陸上運送業ほか収益	11,163	12,045	882	7.9%
2. 不動産事業	4,456	4,773	317	7.1%
⑤不動産事業収益	4,456	4,773	317	7.1%
計	51,122	55,414	4,291	8.4%
消去又は全社	▲87	▲176	▲88	▲101.6%
営業収益	51,035	55,237	4,202	8.2%

①倉庫業収益	羽生第二期倉庫などのトランクルーム事業の好調による増収
②港湾運送業収益	一般荷捌において輸出入とも電機電子部品を中心に好調な取扱い
③国際輸送業収益	中国関連の取扱いが好調なうえ、海外連結子会社も増収。航空貨物取扱いも回復
④陸上運送業ほか収益	アイスター(株)の子会社化による増収
⑤不動産事業収益	綱島マンションの新規稼働および前年中間期にテナント入替工事を実施した物件のフル稼働による増収

セグメント別の営業利益

単位:百万円

区 分	平成18年3月期(中間)	平成19年3月期(中間)	増	減
1. 物流事業	2,082	2,337	255	12.2%
2. 不動産事業	2,384	2,612	228	9.6%
計	4,466	4,950	483	10.8%
消去又は全社	▲1,723	▲1,653	69	4.0%
営業利益	2,742	3,296	553	20.2%

1. 物流事業	港湾運送業での一般荷捌業務の好調およびトランクルーム事業の好調による増益
2. 不動産事業	綱島マンションの新規稼働および前年中間期にテナント入替工事を実施した物件のフル稼働による増収のため

### セグメント別の営業収益と営業利益の通期見通し(連結)

#### a. 営業収益

単位: 百万円

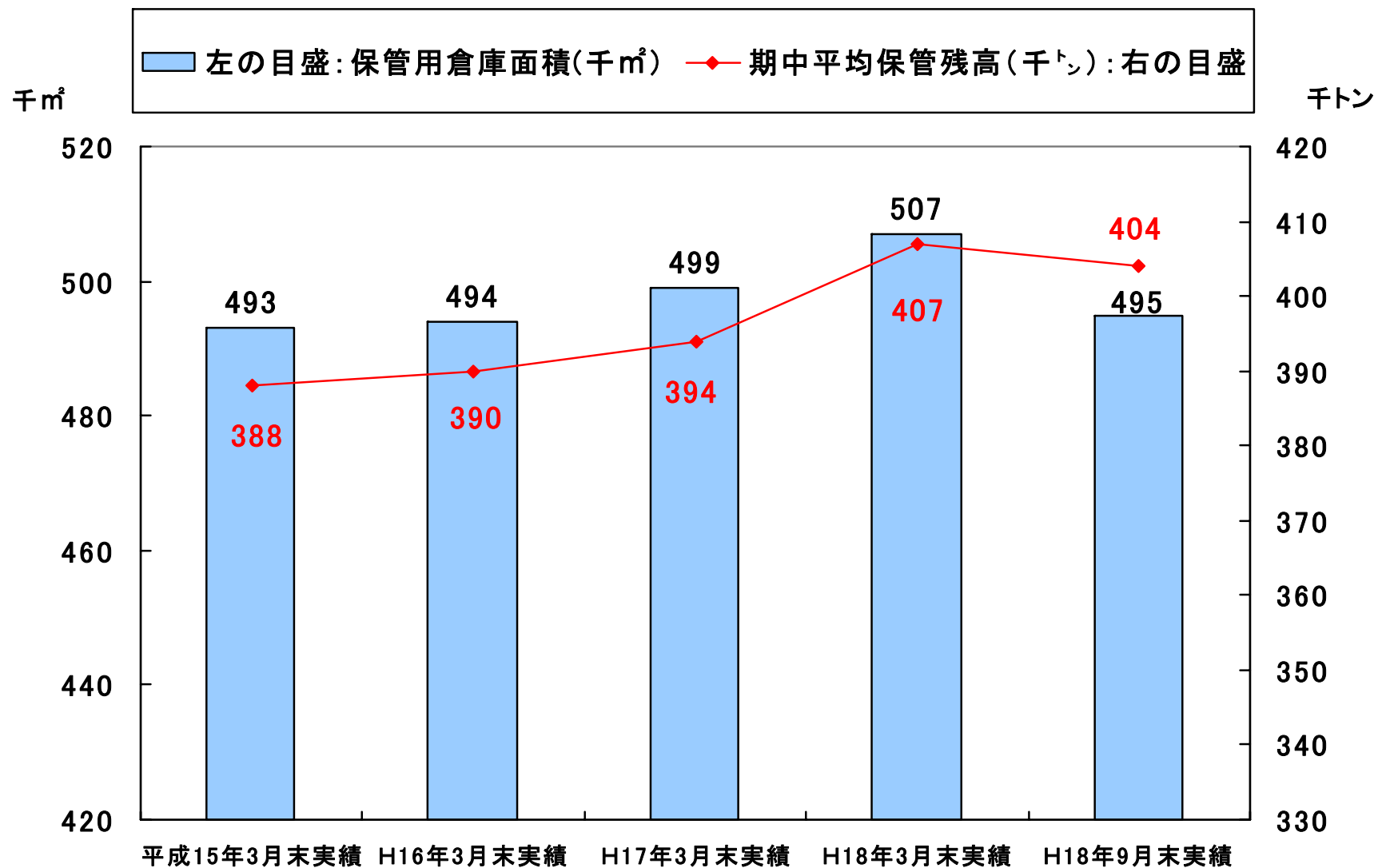
区 分	平成16年3月期実績	平成17年3月期実績	平成18年3月期実績	平成19年3月期見通し	増	減
1. 物流事業	80,014	88,850	96,814	110,100	13,285	13.7%
2. 不動産事業	14,125	10,283	9,151	9,700	548	6.0%
計	94,139	99,134	105,966	119,800	13,833	13.1%
消去又は全社	▲449	▲142	▲269	▲300	▲30	▲11.5%
営業収益	93,690	98,992	105,696	119,500	13,803	13.1%

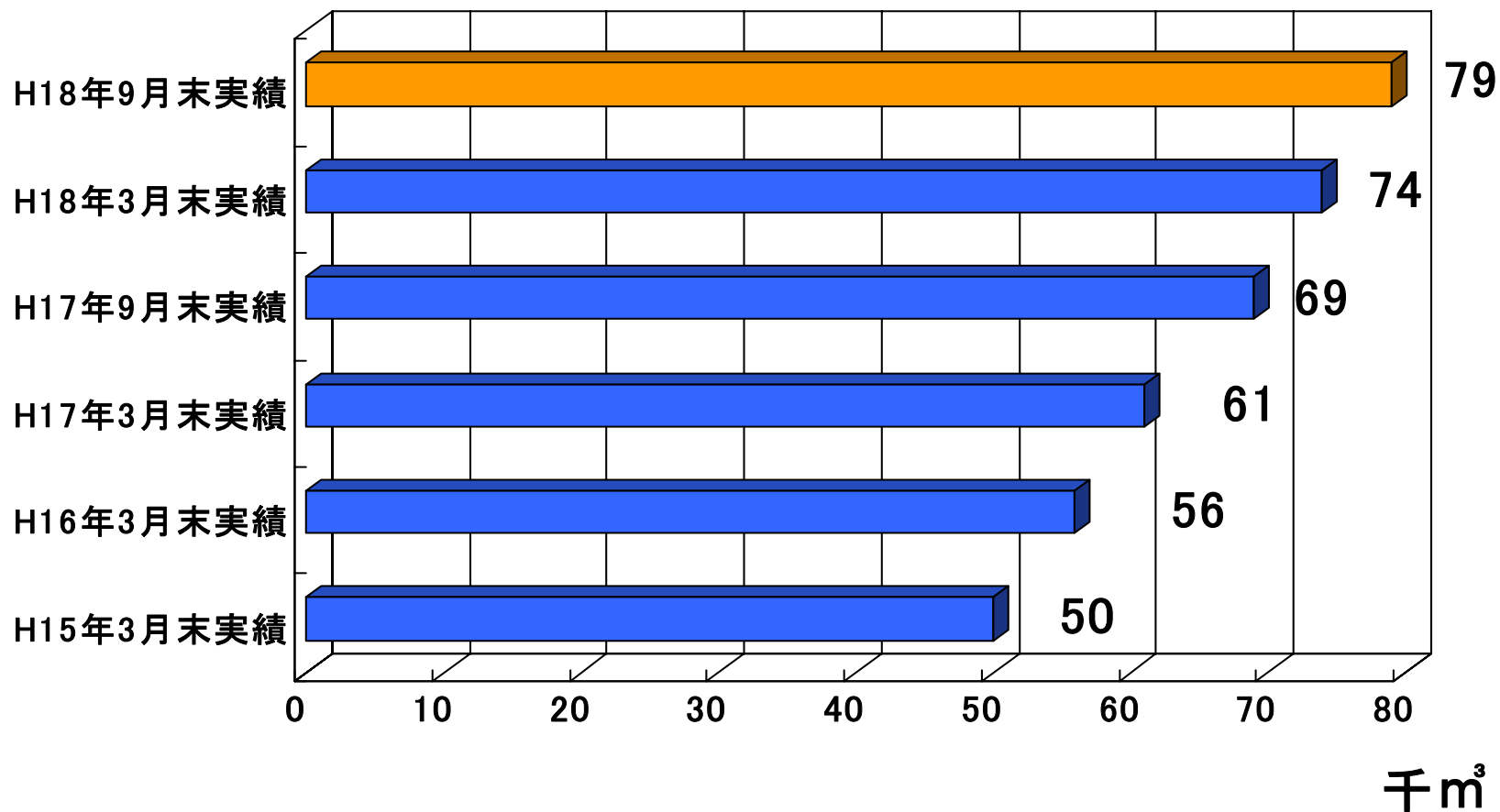
#### b. 営業利益

単位: 百万円

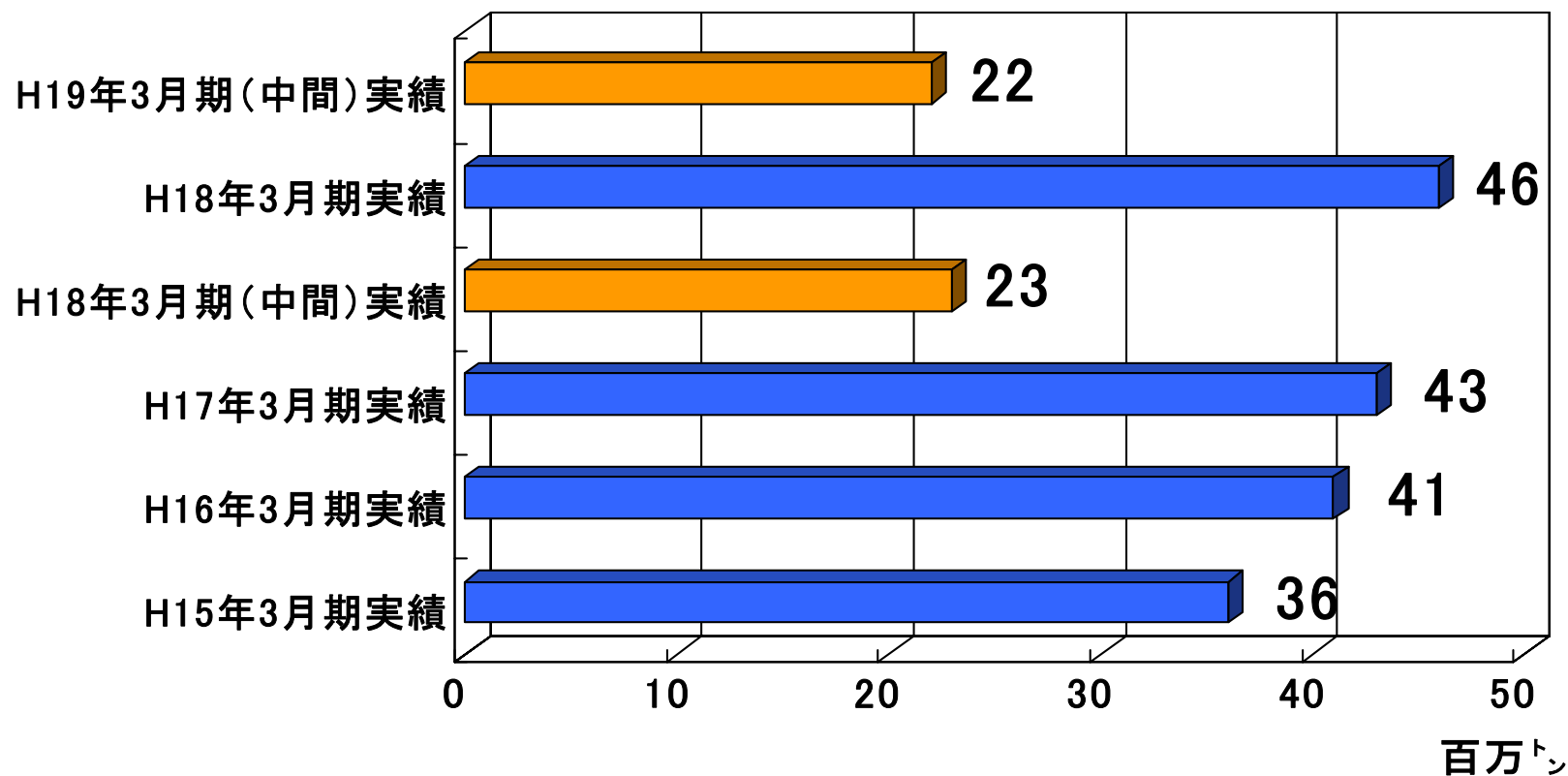
区 分	平成16年3月期実績	平成17年3月期実績	平成18年3月期実績	平成19年3月期見通し	増	減
1. 物流事業	1,762	3,665	4,171	5,450	1,278	30.7%
2. 不動産事業	7,201	6,011	4,843	5,150	306	6.3%
計	8,963	9,676	9,015	10,600	1,584	17.6%
消去又は全社	▲3,118	▲3,300	▲3,310	▲3,600	▲289	▲8.7%
営業利益	5,845	6,376	5,704	7,000	1,295	22.7%

※前期から物流施設の賃貸業務を不動産事業から物流事業に含めることとしているが、上の二表では、前々期の実績も前期の基準を適用して組替えて比較している。前々期の組替前と組替後を比較すると、営業収益で物流事業が33億46百万円増加し、不動産事業が36億49百万円減少し、営業利益で物流事業が8億5百万円増加し、不動産事業が同額減少している。

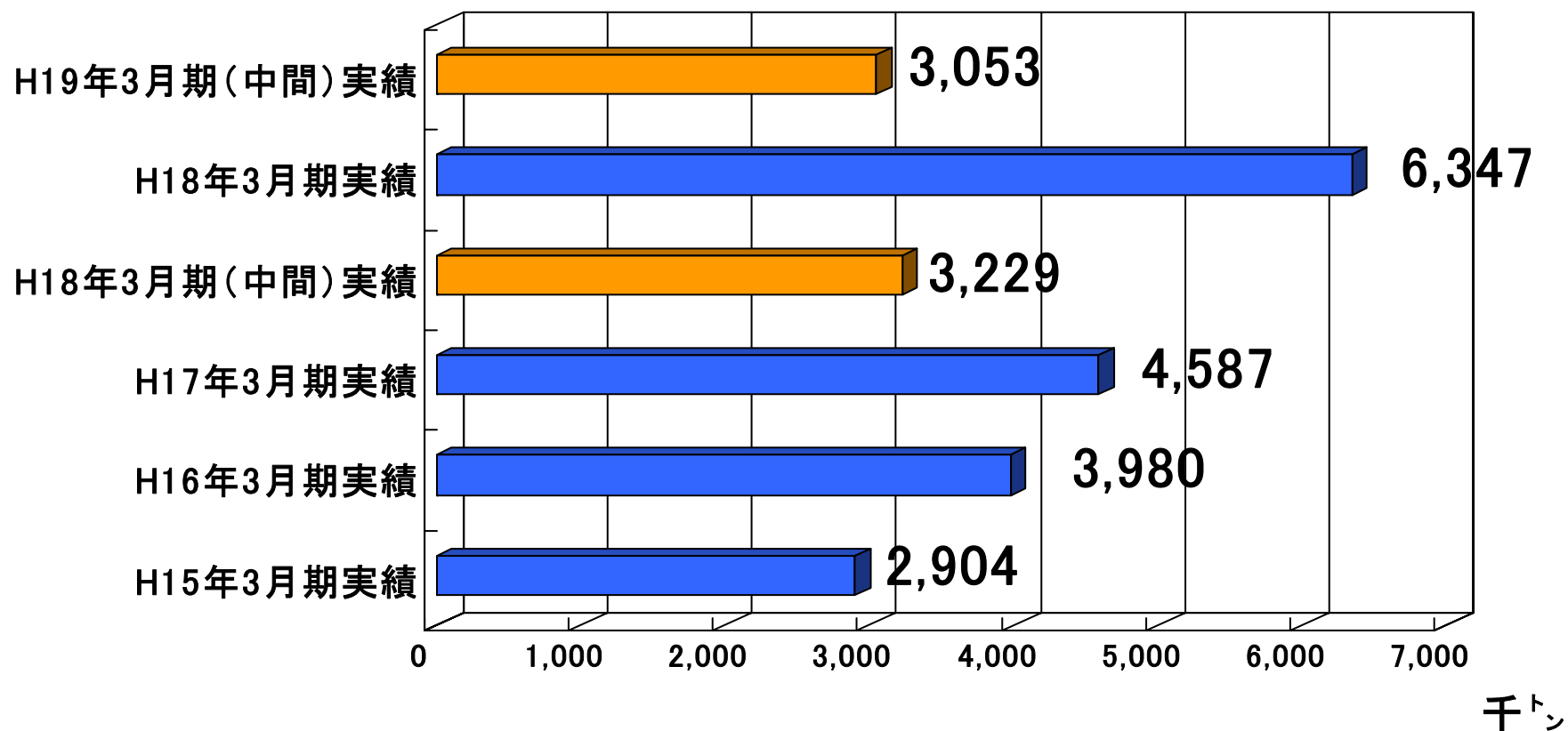




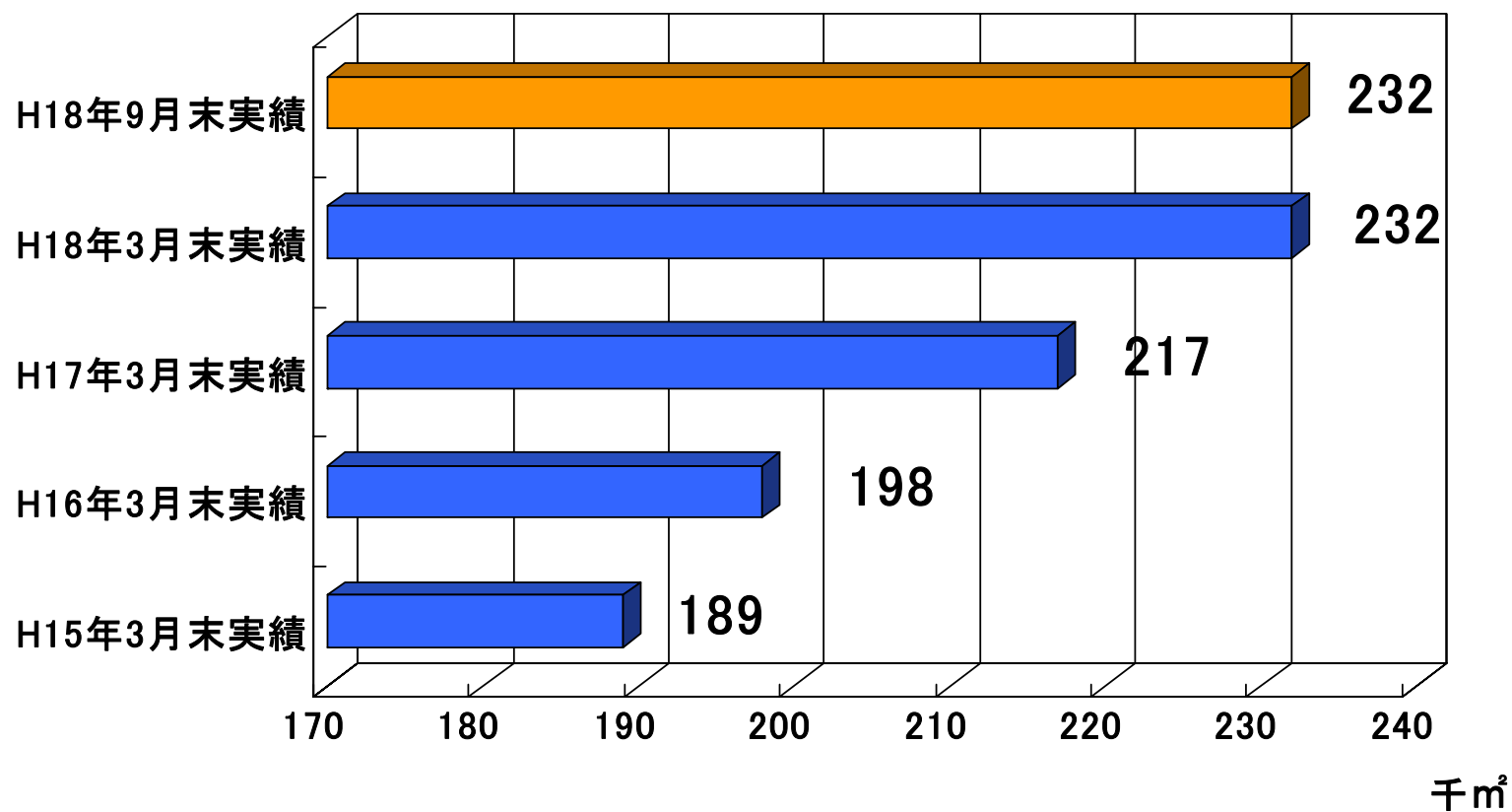
### 港湾運送取扱量



### 国際輸送取扱量



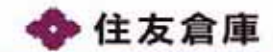
### 賃貸ビル





## II-3. 主な設備投資案件(連結)

主な設備投資案件(計画)の中間期及び通期見通し



区 分		平成19年3月期(中間)	平成19年3月期(通期見通し)
物流事業	<b>弥富埠頭土地購入(愛知県弥富市)</b> 時 期:平成18年7月 設備投資額:17億1百万円 面 積:24,849㎡(7,517坪)	11億65百万円	17億1百万円
	<b>南本牧倉庫建設工事</b> 工 期:平成18年7月~平成19年7月 設備投資額:25億10百万円 構造・面積:鉄筋コンクリート造5階建、延床面積23,475㎡(7,101坪)	7億8百万円	14億16百万円
	<b>羽生トランクルーム営業所第三期倉庫建設工事</b> 工 期:平成18年9月~平成19年7月 設備投資額:14億1百万円 構造・面積:鉄骨造4階建、延床面積10,009㎡(3,028坪)	4億5百万円	8億10百万円
	<b>大阪港南港東土地購入(大阪市住之江区)</b> 時 期:平成18年10月 設備投資額:40億72百万円 面 積:33,890㎡(10,252坪)	3億87百万円	40億72百万円
	土地購入	-	45億円
	倉庫建物建設工事	-	20億円
不動産事業	<b>住友ツインビル中央監視設備等更新工事</b> 工 期:平成15年4月~平成19年2月 設備投資額:22億3百万円	1億35百万円	4億45百万円
	<b>南堀江マンション建設工事(住戸142戸+店舗1区画)</b> 工 期:平成17年4月~平成19年1月 設備投資額:17億20百万円 構造・面積:鉄筋コンクリート造14階・地下1階建、延床面積9,135㎡(2,763坪)	7億18百万円	12億24百万円
	道頓堀商業施設設計ほか	-	3億30百万円
全社	<b>次期情報システム開発費用</b> 工 期:平成17年4月~平成20年3月 設備投資額:12億93百万円	2億72百万円	4億72百万円

	次期情報システム開発	新経理・新人事・給与システム導入
開発期間	平成17年4月～平成20年3月	平成18年1月～平成20年3月
設備投資額	12億93百万円	3億98百万円
内 容	昭和49年稼働の当社基幹システム「STOCS」をすべてオープン系システムへとコンバート	会計全般、支払・債権管理、固定資産管理、人事、給与事務処理にかかるシステムを導入
効 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来のレガシーシステムとオープン系システムが一本化されることにより開発・運用管理の負担が軽減</li> <li>・当社基幹システムに係るシステム構築の高速化や他社とのより高度な連携、新技術への迅速な対応等が図られ顧客へのサービスが向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報検索、データ加工やシミュレーション機能が充実することにより、業務の合理化、簡素化に加え高度かつ迅速な経営分析が行え、決算情報開示の早期化にも寄与</li> <li>・ペーパーレス化など業務効率化が進展しコストが削減される</li> <li>・内部統制監査制度への対応が容易</li> <li>・人事制度や会計制度変更への迅速かつ柔軟な対応が可能</li> </ul>

設備投資額と減価償却費の中間期の実績

a.設備投資額

単位:百万円

区 分	平成18年3月期(中間)	平成19年3月期(中間)	増 減 額
1. 物流事業	447	3,018	2,570
2. 不動産事業	2,888	1,026	▲1,862
計	3,336	4,044	707
3. 全社	246	290	43
連 結	3,583	4,334	751

b.減価償却費

単位:百万円

区 分	平成18年3月期(中間)	平成19年3月期(中間)	増 減
1. 物流事業	1,391	1,315	▲76 ▲5.5%
2. 不動産事業	946	985	39 4.2%
計	2,338	2,300	▲37 ▲1.6%
3. 全社	74	70	▲4 ▲5.6%
連 結	2,412	2,371	▲41 ▲1.7%

設備投資額と減価償却費の通期見通し

a.設備投資額

単位:百万円

区 分	平成16年3月期実績	平成17年3月期実績	平成18年3月期実績	平成19年3月期見通し	増 減 額
1. 物流事業	1,317	1,582	5,243	16,500	11,256
2. 不動産事業	8,298	2,413	4,625	2,000	▲2,625
計	9,616	3,996	9,869	18,500	8,630
3. 全社	165	111	529	500	▲29
連 結	9,781	4,107	10,399	19,000	8,600

b.減価償却費

単位:百万円

区 分	平成16年3月期実績	平成17年3月期実績	平成18年3月期実績	平成19年3月期見通し	増	減
1. 物流事業	2,367	2,984	2,828	3,000	171	6.1%
2. 不動産事業	2,481	1,991	1,954	2,000	45	2.3%
計	4,848	4,975	4,783	5,000	216	4.5%
3. 全社	217	168	148	150	1	1.1%
連 結	5,065	5,143	4,931	5,150	218	4.4%

※前期から物流施設の賃貸業務を不動産事業から物流事業に含めているが、上の二表では、前々期の実績も前期の基準を適用して組替えて比較している。前々期の組替前と組替後を比較すると、設備投資額では変更はないが、減価償却費で物流事業が7億5百万円増加し、不動産事業が同額減少している。

## Ⅲ. 中期経営計画の推進

～平成19年3月期(連結)中間における取り組み～

1. 遠州トラック株式会社の子会社化
2. 中国ビジネスの強化
3. オムロン株式会社との合併事業
4. 物流拠点への投資
5. DSS事業への取り組み
6. 不動産事業への取り組み

- 9月に発行済株式総数のうち60%を  
友好的TOBにより取得、子会社化

#### (遠州トラックの特質)

- ・ 静岡県を基盤とする運送会社で地域密着型の効率的経営を強みとし、中部地区に数多くの優良取引先を有する
- ・ 中国にも平成6年上海に合併会社を設立するなどトラック輸送網を構築



商号	遠州トラック株式会社 ENSHU TRUCK CO.,LTD
本店所在地	静岡県袋井市木原627番地の3
設立年月	昭和40年8月
主な事業内容	一般貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業、倉庫業、不動産売買・仲介及び賃貸業
主な事業所	静岡県内、春日部、千葉、東京、横浜、一宮、大阪、富山
資本金	1,284百万円
従業員数	602名
連結営業収益	平成18年3月期 16,740百万円、平成19年3月期中間 8,806百万円
連結営業利益	平成18年3月期 1,098百万円、平成19年3月期中間 509百万円
連結子会社	(株)藤友物流サービス、遠州トラック関西(株)、(株)中国遠州コーポレーション、上海遠州物流有限公司

(住友倉庫)

- ・配送センター業務に不可欠な陸運部門の強化
- ・中部地区の優良顧客層への事業展開
- ・中国事業および日中間一貫輸送の更なる拡大

(遠州トラック)

- ・フォワーディング機能の獲得による事業の拡大
- ・関東、関西地区の優良顧客層への事業展開
- ・財務、人材面での事業基盤の強化

遠州トラック

●国内拠点



●中国拠点





### ■上海に新会社「住友倉儲(中国)有限公司」を全額出資して設立

- ・国家レベルの開発区である金橋輸出加工区に39千㎡の土地使用権を取得し、延床面積39千㎡の倉庫を建設（平成20年初頭に稼働予定）
- ・電機電子部品の配送センターや自動車パーツセンターを誘致予定



商号	住友倉儲(中国)有限公司 (Sumitomo Warehouse (China) Ltd.)
所在地	上海市金橋輸出加工区南区
設立年月日	平成18年11月3日
主な事業内容	倉庫保管、倉庫荷役、流通加工、 陸上運送、梱包等
資本金	US\$20,000千 (約2,365百万円)





■オムロン(株)の物流子会社であるオムロンロジスティッククリエイツ(株)(OLC)の発行済株式総数の49%を当社が譲受け、合併事業とすることで合意

☆当社の国際物流ノウハウを提供し、オムロングループの商品物流を担うOLCを通じ、グローバルベースでの物流機能の強化に貢献する

☆オムロングループとの関係強化により、当社グループ自体の物流事業の一層の拡大を図る

商号	オムロンロジスティッククリエイツ株式会社 株式譲受後、オムロン住倉ロジスティック株式会社
本店所在地	大阪市北区堂島
事業開始予定日	平成19年4月1日
主な事業内容	オムロン製品の国内外の輸配送、輸出入業務、 物流拠点の運営管理、輸出入製品の検査代行等
資本金	90百万円
持株比率	当社49%、オムロン51%
売上高予想	約120億円(平成20年3月期)



平和島住倉ビルディング

#### ■名古屋港弥富埠頭土地購入

- ・名古屋における輸出入貨物取扱増に伴う慢性的な庫腹不足への対応

所在地	愛知県弥富市楠
取得	平成18年7月
面積	24,849㎡(7,517坪)
投資額	17億1百万円



#### ■大阪港南港東土地購入

- ・大阪における配送センター業務の強化への対応

所在地	大阪市住之江区南港東
取得	平成18年10月
面積	33,890㎡(10,252坪)
投資額	40億72百万円



● 当社拠点

#### ☆埼玉県羽生下川崎土地購入

取得年月：平成18年3月

敷地面積：34,014㎡(10,289坪)

建蔽率・容積率：60%・200%

設備投資額：12億54百万円

- ・本年度中に施設仕様の決定および社内新組織の立ち上げを予定

#### ☆事業コンセプト

##### ◎ライフサイクル・マネジメント業務の拡充

- ・書類、映像・磁気テープ等の記録媒体を集配からファイリング、保管、廃棄まで一貫したサービスを提供

##### ①セキュリティ

⇒機密情報、個人情報漏洩防止のため、ハード、ソフトの両面において徹底したセキュリティを確立

##### ②ビジネスプロセスサポート

⇒書類、磁気テープ等の記録媒体の集配、ファイリング、保管、廃棄(消磁)までの一貫サービスを提供

##### ③デジタルイズ

⇒文書の電子化ニーズに対応、施設内でのスキャンニングを実施。電子化によりWEB上で文書の検索、閲覧が可能に

##### ④リサイクル

⇒廃棄書類においては、施設内にて破碎し、判読不能な状態で製紙会社へ直接持ち込み、再生紙等にリサイクルする



羽生トランクルーム営業所





#### ■道頓堀地区再開発への取り組み

##### \* A地区(約5,800㎡、容積率910%)

商業・ホテル・住宅・オフィス等の複合施設を  
平成19年度着工予定

(参考)当社が半額寄付する大阪市計画の道頓堀川  
人道橋のデザインが決定(平成18年4月)。  
橋上にカフェテラスや物販も計画され地域の  
賑わいを創出。平成19年度中に完成予定。

##### \* B地区(約1,100㎡、容積率150%)

商業施設を平成19年度着工予定

##### \* C地区(約1,600㎡、容積率600%)

南堀江マンション建設中(賃貸:住戸142戸、店舗1区画)

工 期 : 平成17年4月～平成19年1月

構 造 : 鉄筋コンクリート造、地上14階地下1階建

延床面積 : 9,135㎡(2,763坪)

設備投資額 : 17億20百万円



南堀江マンション

## キービジュアル

コア・メッセージのイメージ  
シンボル

■ 物流と不動産という2つの側面が交じり合い、互いが表でも裏でもない個性的な形を創り出している

■ 2つが相互に交じり合うことで生まれる1つのフォルムは、「価値の創造」、「価値の活用」を表すとともに、Sumitomo、Synergy、Solutionに共通するSを表す

■ 明晰なイメージのブルーと、暖かさを感じさせるオレンジの基調色は、陸(オレンジ)海空(ブルー)にまたがる総合物流のイメージも示す

■ 中央の空間に回転し渦巻くような流れは、ビジュアル全体にダイナミックな印象を与える

ハードとソフトを効果的に組み合わせ  
お客様にとって最適な価値を提案・実現する



Best Synergy & Best Solution



住友倉庫

住友倉庫は  
倉庫を母体とする企業ならではの  
ハードとソフトを効果的に組み合わせ  
お客様にとって最適な価値創造を提案・実現する  
グローバルな総合物流のエキスパートです

## コアフレーズ

当社の現在のポジション  
と今後の方向性を示す

## キーフレーズ

企業メッセージの中で、  
特に強調したいコンセプト  
を集約した英文の  
ショートフレーズ

## メッセージ・リード

中期経営計画の実現に  
邁進する住友倉庫の姿  
を簡潔に語るリード文

本日はありがとうございました



IRに関する連絡先

株式会社 住友倉庫 事業推進部 広報IR課(担当:加藤)

〒550-0021 大阪市西区川口2-1-5

TEL 06-6581-1104 FAX 06-6581-3870

E-Mail : [ir\\_mbx@sumitomo-soko.co.jp](mailto:ir_mbx@sumitomo-soko.co.jp)